

「永久劣後ローン融資制度」の創設を求めます

今般の新型コロナウイルス感染症の影響で、私たち事業者は経済活動が停滞するなか、今後の企業経営は先の見通せないものとなっています。政府は緊急融資をいろいろと打ち出しておりますが、このコロナ禍は長期化すると言われていています。現在は緊急融資で乗り切れている企業も、再度の借入の時には状況が変わりますし、借入金額が増えると返済が重くのしかかってきます。そこで、通常の融資ではない中小企業の支援策として、「永久劣後ローン融資制度の創設と政府および日銀出資の買取機構の設立」を提案します。

地域経済の基盤である中小企業を存続させ、多くの雇用を維持し、中小企業と共存共栄を図る地域金融機関を支援し育てるため、福岡県中小企業家同友会として署名活動を行います。下記の緊急提言にご賛同いただける方の、多くの声を政府に届け、早期実現を目指します。

1. 売上高急減などで自己資本の多くを毀損した中小企業に対しては、資金繰り支援と併せて資本増強策が必要であると考えます。中小企業・小規模事業者向けの永久劣後ローン融資制度の創設を要望します。当会としては以下のような制度を提案します。
2. 永久劣後ローンとは、返済の優先順位が一般債権に劣後する借入金であり、議決権も返済期限もないものです。企業の業績が回復し、財務状況に余裕ができた段階で返済をすることができる制度です。
3. 金利は当初は無利息とし、支援先企業の経営安定化に伴って順次金利を引き上げることとします。ただし、今回歴史的な非常事態であることを踏まえ、通常の資本性ローンよりも低利なものとしします。
4. 対象企業を決める際は、その企業と取引のある地域金融機関の紹介・推薦を条件とすることで、不適切な企業に資金が流れるのを防ぐことが可能となると考えられます。一部の中核企業などに限定するのではなく、より幅広い中小・小規模企業を対象とした制度とします。
5. これを進めるうえで、政府は永久劣後ローンの買い取りをする仕組み（買取機構）をつくるなどして、金融機関の対応をうながすようにしてください。
6. 私ども中小企業家同友会は、会員企業をはじめ地域の中小企業が日常的な金融機関との接点強化、永続的な企業づくりや雇用の維持・確保などについて、引き続き取り組んでいくことを呼びかけていきます。

中小企業で働く社員の皆さん、ご家族のみなさん、日々の暮らしを支え、地域経済を支えている中小企業の役割をご理解頂き、署名のご協力をお願いいたします。

※この署名は各政党へ提出します。

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター11F 電話 (092) 686-1234

